

条例改正や補正予算など 17議案を審議

市議会6月定例会が、6月8日(火)から6月24日(木)までの17日間の日程で行われました。条例改正や補正予算など17案件が審議されました。主な議案を紹介します。



一般会計補正予算（第5回・第6回）

既定の予算総額に3,900万円を追加し、歳入歳出予算額をそれぞれ202億7,200万円としました。

●新型コロナウイルス感染症

生活困窮者自立支援金給付事業（300万円）

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、緊急小口資金などの特例貸付を利用できない世帯に、国の制度により支援金の給付を行います。

●東小学校維持修繕事業（1,500万円）

安全確保のため、校舎のクラックの補修などの修繕工事を行います。

企業版ふるさと納税

地方創生特別会計補正予算（第1回）

既定の予算総額に130万円を追加し、歳入歳出総額をそれぞれ7億5,830万円としました。企業版ふるさと納税の申し出があったので、その受け入れとともに、企業版ふるさと納税地方創生基金に積み立てます。

議 案

●固定資産評価審査委員会委員の選任について

8月31日に任期満了となる大庭法男委員を引き続き選任することについて同意されました。

●市営住宅条例の一部を改正することについて

市営住宅に優先的に先行して入居させることができる

対象者に『20歳未満の子を扶養しているひとり親』を追加するため、条例を改正しました。

●介護保険条例の一部を改正することについて

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少が見込まれる場合などに減免の対象となる保険料の納期限を令和4年3月31日までに変更するため、条例を改正しました。

●斎場条例を廃止することについて

7月1日から、裾野市長泉町衛生施設組合が『裾野長泉斎苑 麗峰の丘』を運営しています。これに伴い市斎場を閉鎖するため、斎場条例を廃止しました。

●市道路線の廃止について

跨道橋の撤去により、1路線を廃止しました。

●建設工事委託変更契約の締結について

東名千福橋の撤去工事の委託契約について、工事完了に伴う工事費の確定により、16,937,890円減額し、316,381,910円で変更契約をすることが可決されました。



東名千福橋撤去工事

